

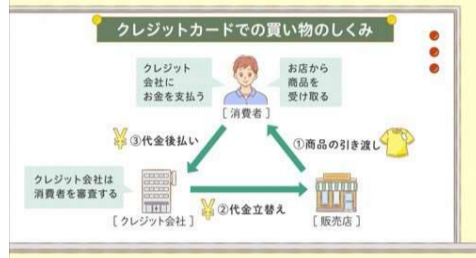


(くろうくま)
 マモルくん、未来のクレ子ちゃんをクレジットカードのトラブルからまもーるっていったよね。詳しく教えて！



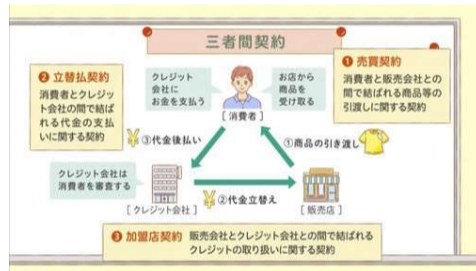
(マモル君)
 OK！まず、クレジットという英語の意味、知ってる？

(クレ子)
 もちろん！「信用」という意味よね。



(マモル君)
 そうだね。次にクレジットカードでの買い物の仕組みを見てみよう。どんなことに気づいたかな？

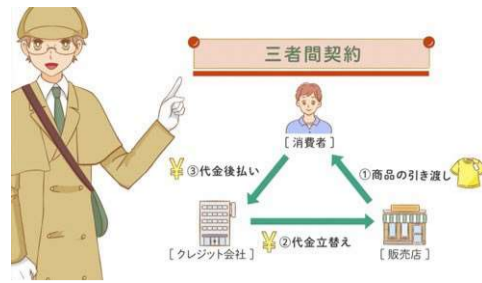
(クレ子)
 買い物をしたところと、支払うところがちがうのね。



(マモル君)
 いいところに気がついたね！クレジットカードが現金の買い物と最も大きく違うのは、契約にかかわる関係者の数なんだ。現金の買い物、つまり通常の売買契約は、販売店と消費者間の二者間の契約。でも、クレジット契約は販売店と消費者のほかにクレジット会社（信販会社）が加わり、契約当事者が三者になるんだ。これを「三者間契約」というよ。



(くろうくま)
 「三者間契約」初めて聞いたくま！



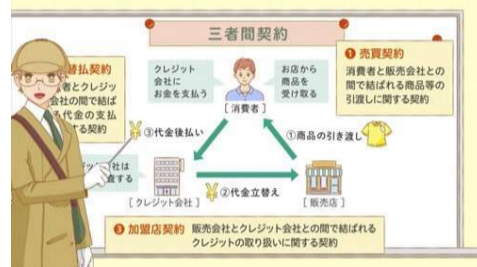
(マモル君)
クレジットカードを使った買い物の時、
実はこの「三者間契約」が結ばれて
いるんだ。



消費者、つまりクレ子ちゃんが
クレジットカードを使って買い物を
することは、お店で商品を受け取る
権利と同時に、クレジットカード会社に
支払う義務があるんだ。



(クレ子)
権利と義務、なるほどね。



(マモル君)
他にどんなことに気づいたかな？



(しろくま)
わかった！クレジットカードは
「後払い」。買い物をした時に
買った人の代わりにカード会社が
お店にお金を支払ってくれてるんだね。



(マモル君)
正解。クレジットカードの場合は、
カード会社が立て替え払いをして
くれているので、お店に対する支払いの
義務は終えているけど、新たにカード会社
に対する支払い義務が発生するんだ。



また「分割払い」「リボルビング払い」
では、金額を分けて支払うこともできる
けど、カード会社に手数料を払わなくては
ならないことには注意が必要だよ。
あと、クレジットカードは、
買い物ができるとい以外にお金を
借りることもできるんだ。
キャッシングというよ。



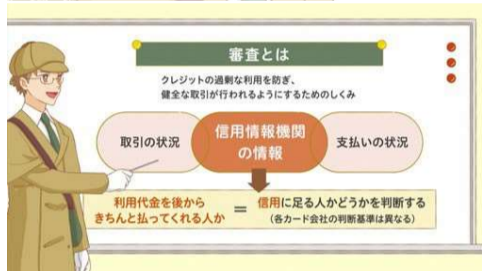
(くろうくま)
知ってる。ご利用は計画的に、
とかコマーシャルしてる。



(クレ子)
ところで、お財布にお金がなくても
買い物できたりお金が借りられたり
便利だけど、買い物をしすぎや
借りすぎて、お金が返せなくなった
時はどうなるの？



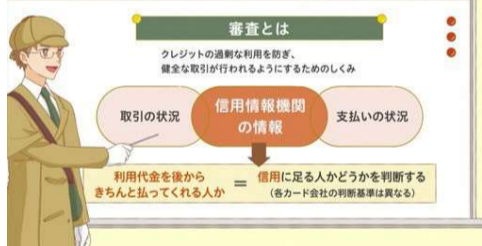
(マモル君)
いいところに気づいたね。
それが「見えないお金」のトラブルなんだ。
そのことを理解するために、カード会社が
立て替え払いをしている仕組みに
についても知っておく必要があるよ。



カード会社は、貸したお金を返して
くれる人かどうか、さまざまな情報を
審査して、信用できると判断した人に
カードを発行するんだ。だから、
収入のない人はカードを発行して
もらえないんだ。



(テキコ)
だから中学生は持てないんだね。



(マモル君)
そしてクレジットカードは、
決められた日に支払いができないと
信用できない人という情報が
記録されてしまい、例えばスマホの
分割払いなんていうのもできなくなる
可能性があるんだよ。



(しろくま)
クレジットカードを使って、あとで
カード会社に支払えないと、
大変なことになるね。
とっても怖いくま！



(マモル君)
そういった意識を持って買い物をすると、
クレジットカードで買い物しすぎる
ことも防げるかもね。

